



学校教育目標「夢や希望を抱き、心豊かにたくましく生き抜く西浦っ子の育成」
～ワクワク！明日も行きたくてたまらない楽しい学校～NDGS 西浦小大好き学校作戦！～



「自分で考え、自分で決められる子に」

校長

1学期も早いもので、残り1ヶ月あまりとなりました。じめじめしたり暑かったりと、天候の変化に体調を崩しがちになります。学校でも空調に配慮し、子どもたちが気持ち良く学習できる環境を整えています。

さて、「世界幸福度ランキング」というものがあることをご存知ですか？国連機関である「持続可能開発ソリューションネットワーク」が毎年発表している世界ランキングでは、2022年の世界幸福度調査の結果、日本は世界で54位だったそうです。「幸福度」という目には見えないものを数値化（0～10）して順位付けをしています。「1人当たり国内総生産（GDP）」「社会的支援の充実（社会保障制度など）」「健康寿命」「人生の選択における自由度」「他者への寛容さ」「国への信頼度」の6つの項目から判定されるそうです。その中で気になったのが、「人生の選択における自由度」に対して、日本は他国と比べて課題があるということです。「自分で考え選択し決定すること」に課題があるということでしょうか？

自分で考え選択し決定する力（自己決定力）の育成は、幼児期から始まっています。自分でおもちゃや遊びを選んだり、先に宿題をやるかゲームをやるか悩んだり……。どこに進学するか、就職するかなど自分の進路や人生について判断し決断することへとつながっていきます。人から指示されず、自分が決定したことに対しては、責任と誇りをもちやすくなります。これが幸福度につながっているでしょう。

自己決定力は、大人がしょっちゅう口出ししては育ちません。子どもが自分で考え、選んで、決める場をたくさん用意し、大人はそれを見守ることを意識していきたいものです。子どもから相談があれば、寄り添って聴くことも必要でしょう。また、子どもが意志を示したときや、どんな小さな事でも自己決定し実行できたことをほめたり、たとえ失敗しても責めたりしないことも大事ですね。

「どうしたの？」「どうしたいの？」「どうしたらいいの？」自己決定力を育成する言葉を私たち教職員も子どもたちにしっかりと投げかけていきます。10年後、20年後・・・予測不能な社会を生きていく子どもたちに本当に必要な力は何なのか？今、子どもたちに付けていきたいですね。

令和5年度西浦小校内研修テーマ「思いや考えを伝え認め合いながら、学びを深める児童の育成」

「対話が生まれる授業作りの工夫」と「児童が安心して学べる学級集団づくり」に視点を当て、日々取り組んでいます。



1年生：「とりのくちばし」クイズを友達と作ります。



2年生：考えを伝え、それを友達が一生懸命に聴いています。



3年生：「伝え合う」には、話す力と聴く力の両方が必要です。学びを深めています。



4年生：グループで自然に話し合い、教え合う姿が見られます。



5年生：学級目標の掲示物が完成。みんなの思いが詰まっています。



6年生：プログラミングや調べ学習など、タブレットPCを使った学習が進んでいます。

お知らせ

- ・7月4日（火）は5校時授業後、全校下校（14:55）となります。
- ・夏季休業は7月21日～8月24日です。
- ・夏休み学習会もあります。詳細は後日プリントを配布します。

西浦小学校ホームページQRコード→

「西浦小日記」には子どもたちの授業や活動等を日々掲載しています。『西浦小 防府市』と検索しても見ることができます。

